

日藻プライマー

日藻プライマーは改修現場向けに開発した水性のカチオン系アクリルエマルションです。水性ながら極めて高い浸透性を有し、且つ下地旧塗膜適性、上塗り適性（樹脂モルタル）に優れております。

特 長

- 脆弱下地表面の強化
（雨打たれ、凍害、ドライアウト等）
- 難接着面への接着性向上
- L.Iコート(G)、各種レベラーのプライマーとして



標 準 使 用 量

乾燥時間		1～2時間(20℃)
目安の 塗布量	吸水性下地(雨打たれ、凍害、ドライアウト等)	250～400g/m ²
	金ゴテ押さえ面	100g/m ²
	非吸水性下地(樹脂塗膜面等)	50～100g/m ²

性 能

各種下地に日藻カチオンを用いて28日養生後の引っ張り強度を測定

下地名	材齢28日	破壊個所
コンクリート平板	2.20 N/mm ²	M破壊
FRP下地	1.80 N/mm ²	M破壊
ウレタン下地	1.80 N/mm ²	M破壊
ステンレス下地	1.30 N/mm ²	M破壊
Pタイル下地	1.25 N/mm ²	G破壊
タイル下地	1.75 N/mm ²	M破壊
アスファルト防水	1.25 N/mm ²	M破壊
エポキシ	1.50 N/mm ²	M破壊
合板	1.00 N/mm ²	G破壊
雨打たれ面	1.30 N/mm ²	G破壊

※M破壊＝日藻カチオン破壊 G破壊＝下地破壊

使用 方 法

- 下地の脆弱層を完全に除去して、レイタンスや汚れの清掃及び完全乾燥をして下さい。
(浮き等の原因になります。)
- 刷毛・ローラーを用いて日藻プライマーを原液のまま塗布して下さい。
- 日藻プライマーを十分乾燥させた後、樹脂入りモルタルをシゴキ塗り、またはレベラーの
流し込みをして下さい。

適合下地

ウレタン防水、アスファルト防水、エポキシ樹脂塗膜面、Pタイル用接着剤面、Pタイル、
FRP防水 ※FRP面は目粗しを行って下さい。

不適合下地

・フッ素樹脂系塗膜、シリコン樹脂系塗膜、金属面、ポリエステル塗装面 ・ゴムシート
・各種ボード類(タワミ、ゆがみの出るもの)

荷 姿

4kg×4本／箱

14kg／缶

注 意 事 項

【使用上の注意】

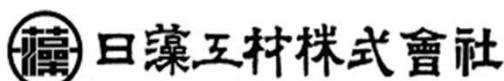
- 雨打たれ面の脆弱層や浮きを除去し、下地は十分乾燥させた上、埃・汚れをよく清掃してから塗布して下さい。
- ワックス等はウエスで拭き取り、シンナーでよく清掃・拭き取りをしてから塗布して下さい。
- FRP面はサンダーで目粗しをした後、また樹脂系塗膜面など撥水性のハジキがある下地は、予めシンナーで
清掃拭き取りをした後に、日藻プライマーをウエス等で薄く擦り込み、馴染ませてから塗り重ねるように塗布
して下さい。
- 日藻プライマーは十分に乾燥させて下さい。
- 塗り付けモルタルは、必ず樹脂入りモルタルとして下さい。
- 金属部や浴槽内には使用しないで下さい。
- 気温5℃以上で使用して下さい。
- 用具類は速やかに水洗いして下さい。
- デッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量を目安に塗布してください。
(塗布量不足は気泡の原因につながります。)

【取り扱い上の注意】

- 目や口に入った場合には直ぐ水で最低15分間洗い流した後、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに多量の水を飲み、吐き出した後、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、付着した部分を水で洗い流し、状況に応じ医師の診断を受けて下さい。
- 使用目的以外には使用しないで下さい。

◆本カタログの記載内容は予告なしに仕様や記載内容を変更する場合がありますのでご了承下さい。

◆本カタログ記載の内容(性能、データ等)は作成時点での弊社実験での測定値であり、実際の現場での数値、
性能を保証するものではありません。



〒174-0043 東京都板橋区坂下2-13-18
TEL.03(5392)1007(代) FAX.03(5392)1023

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2008002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/